

平成 28 年度事業報告

I 公益目的事業

1 防火防災普及事業関係（公1）

(1) 情報誌（セフティ）、インターネットを活用した情報提供事業

ア 防災専門家からの寄稿、消防関係法令等の改正概要や仙台市消防局からのお知らせなど、消防防災情報の提供を目的に、情報誌「セフティ」定期号（第29号）を編集・発行し、会員事業所等に配布した。

□発行部数 1,600部

イ インターネット（ホームページ）を活用し、甲種防火管理講習をはじめとする各種法定講習や応急手当講習、協会の事業概要等の案内や、時宜に応じた市民生活の安全・安心に直結する防火・防災に関する情報等を配信した。

また、協会で開催した、優良事業所視察研修会及び消防技術研修会（災害対応研修会・防災技術研修会）の結果をホームページにより情報提供した。

さらに、会員事業所における防火・防災の取り組み状況を、不特定多数の事業所の参考となるようホームページに掲載した。

(2) 自主防災力の向上及び防災関係強化週間に関する普及啓発事業

ア 市民公開の消防技術研修会（災害対応研修会・防災技術研修会）を市内各消防署の協力を得て市内6ヶ所（うち2会場の屋外研修は雨天のため中止）で開催し、消火器、屋内消火栓、AEDの取扱いを含む救急技術等の実践的な習熟を通じ自主防災力の向上を図った。

□参加状況 138事業所から 延 683名参加

イ 事業所の防火防災対策の充実・強化と不特定多数の安全確保に資することを目的に優良事業所視察研修会を開催し、東日本大震災で大きな被害を受けた気仙沼市を伺い、気仙沼市復興語り部から実体験に基づく震災時の模様及び現在までの復興の道のりなど今後に向けた防災力向上に資する取り組みについて研修を行い防災対策の一助とした。

□参加状況 63事業所から66名参加

ウ 危険物取扱事業所における一層の保安体制の確立を図るため、危険物安全週間（6月5日～6月11日）の時期に、危険物の取扱いに対する安全意識の高揚及び啓発の推進を図るため、「タイトル：知って安心危険物」の冊子及び啓発ポスターを危険物保安部会員事業所等に配布した。

□冊子配布数 350部

□ポスター配布数 350部

エ 春季・秋季火災予防運動等の時期をとらえて、防火に関する啓発ポスターやチラシを作成・配布して、事業所や市民の防火防災意識の向上を図った。

□防火ポスター 6,600枚

□防火チラシ 41,000枚

オ 市内の小中学校に最新の防火防災情報を掲載した新聞（消防写真新聞）を配布し、児童、生徒に対する防火防災意識の普及高揚を図った。

□新聞配布数 2,800部

カ 防災読本「災害時の健康管理」を全会員事業所等に配布し、防災意識の啓発を図った。

□冊子配布数 1,300部

キ 市民の防災思想の普及高揚を図るため、平成28年度定時総会終了後、宮城大学食産業学部食品分子栄養学研究室准教授の石川伸一氏を講師に迎え、「もしもに備える『食』とは」と題して、市民公開講演会を開催した。

□参加状況 市民等 約200名参加

(3) 各種イベントへの参加による普及啓発事業

仙台市が主催した各区区民まつりや消防出初式等の各種イベント及び平成28年度防災シンポジウム・第12回災害に強いコミュニティのための市民フォーラムに参加するなど、市民及び事業所等の防災意識の普及高揚を図った。

(4) 防災展示事業

仙台市の委託を受け、仙台市等が主催したイベント会場や各種学校、市民センター、市・区役所等に防災パネル（火災予防に関する情報や地震・津波による被災状況等）及び防災用品等の展示を行うとともに、各種イベントの主催者へ防災パネル等の貸し出し展示を行い、市民や事業所に対する防火防災思想の普及啓発を図り、東日本大震災の教訓を風化させない取り組みを推進した。

□ 防災パネル展示件数 82件

(5) 災害弱者訪問防火指導事業

仙台市の委託を受け、火災の未然防止と被害の軽減を図るため、市内在住の災害弱者世帯（災害が発生した際に援護が必要なひとり暮らしの高齢者や重度の障害を持った者等をいう。以下、同じ。）を職員が個別に訪問し、防火防災に関する相談に応じるとともに、有事の際の安全確保上のチェックや消火器の使い方、119番の通報要領などの指導を行った。

なお、当該事業に関する実施結果は仙台市消防局に報告し、災害発生時の消防隊の重要活動支援情報として活用された。

□訪問指導数 3,459世帯

(6) 災害弱者の家具転倒防止対策推進事業

仙台市の委託を受け、市内在住の自力で防衛策を講じることが困難であると考えられる災害弱者世帯のうち希望者宅を訪問し、地震発生時における家具転倒による被害の防止・軽減を図るため、居間、寝室等の家具（タンス、食器棚等）に転倒防止用金具の取付けや地震対策等に関する助言や指導を行った。

なお、当該事業に関する実施結果は仙台市消防局に報告し、地震対策の推進資料等として活用された。

□取付け数 220世帯 434台の家具に取り付け実施

(7) 地震体験車運用事業

仙台市の委託を受け、市内の町内会、事業所、学校その他、各種イベント会場等に地震体験車「ぐらら」を持ち込み、不特定多数の方に地震の擬似体験をしてもらうとともに、各種防災相談の他、車両に積載の器材を活用し、津波等の画像を取り入れた防災指導等を通じ、地震の恐ろしさ、地震への備えの重要性等について認識してもらうなど、市民の防災・減災思想の普及啓発を図った。

□模擬地震体験者数 8,236名

(8) 高齢者等の災害対策支援事業

仙台市の委託を受け、火災や救急車を呼ぶ事案などが発生した際に、迅速かつ円滑な救出活動等を支援し、市民の安全確保を図るため、援護が必要な高齢者等を対象とした緊急通報システム（有事における仙台市消防局への通報システム）登録者のデータ更新等の入力を行った。

なお、当該事業に関する実施結果は仙台市健康福祉局及び消防局に報告し、高齢者福祉や災害発生時の消防隊の重要活動支援情報、防火防災対策の推進資料等として活用された。

2 各種講習事業関係（公2）

（1） 防火管理講習事業

仙台市の委託を受け、甲種防火管理新規講習を12回開催し、1,735名が受講した。

また、特定防火対象物で収容人員が300人以上の事業所の防火管理者に、5年に一度の受講が義務付けられる甲種防火管理再講習を2回開催し、231名が受講した。

（2） 防災管理講習事業

仙台市の委託を受け、防災管理新規講習を2回開催し、136名が受講。同再講習を1回開催し、10名が受講した。

また甲種防火管理者と防災管理者の資格を同時に取得できる防火・防災管理新規講習を4回開催し、592名が受講。同再講習を2回開催し、96名が受講した。

（3） 自衛消防業務講習事業

仙台市の委託を受け、自衛消防業務新規講習を50回開催し、754名が受講した。

また、自衛消防業務新規講習の修了者を対象とした、自衛消防業務再講習を20回開催し、211名が受講した。

（4） 応急手当講習事業

仙台市の委託を受け、市民の正しい応急手当に関する知識、技術の普及啓発を図ることを目的として、国際基準の日本版蘇生ガイドラインに基づく「普通救命講習（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」、「上級救命講習」、「応急手当普及員講習（再講習含む）」及び「救命入門コース」を実施した。

また、市内各消防署の要請に応じて、町内会や事業所等に出向き、救命講習の支援業務を行った。

□普通救命講習受講者	3,240名
□上級救命講習受講者	684名
□応急手当普及員講習受講者	72名
□応急手当普及員再講習受講者	129名
□救命入門コース受講者	716名

（5） 防火対象物点検資格者講習事業

（一財）日本消防設備安全センターの委託を受け、防火対象物点検資格者講習を1回開催し、35名が受講した。

また、防火対象物点検資格者に、5年に一度の受講が義務付けられる、防火対象物点検資格者再講習を2回開催し、59名が受講した。

(6) 防災管理点検資格者講習事業

(一財) 日本消防設備安全センターの委託を受け、防災管理点検資格者講習を1回開催し、20名が受講した。

また、防災管理点検資格者に、5年に一度の受講が義務付けられる、防災管理点検資格者再講習を1回開催し、24名が受講した。

(7) 市民生活の安全確保に資する講習事業

ア 危険物取扱者乙種第4類の資格取得に向けた危険物試験対策講習を4回開催し、199名が受講した。

※当協会講習受講者の合格率は次のとおりである。

6月：40.5% 8月：46.5%

11月：30.8% 2月：33.3%

※仙台市全体の合格率：平均32.2%

イ 危険物保安技術協会の委託を受け、危険物貯蔵施設の適切な維持管理に関する屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に係る講習の補助業務を行った。

(本講習1回開催、11名受講)

ウ (一財) 日本石油燃焼機器保守協会の委託を受け、石油燃焼機器等の適切な維持管理に関する、石油機器技術管理新規講習等の補助業務を行った。

(1回開催、49名受講)

また、資格取得後5年に一度の受講が義務付けられる、石油機器技術管理再講習の補助業務を行った。

(1回開催、83名受講)

エ (一財) 消防試験研究センター宮城県支部の委託を受け、消防設備士、危険物取扱者の資格試験の願書配布事務等を行った。

オ 仙台市の委託を受け、仙台市地域防災リーダー養成講習会の開催事務等を行った。

(2回開催、54名受講)

II 収益事業

1 消防用設備等の保守点検等事業（収1）

(1) 消防用設備等保守点検事業

不特定多数の市民が利用する仙台市有施設のうち、委託を受けた施設に設置されている消防用設備等について、消防法第17条の3の3の規定に基づく消防用設備等の点検報告業務、同法第8条の2の2の規定に基づく防火対象物定期点検業務及び同法第36条第1項の規定に基づく防災管理点検業務を実施するとともに、施設の防火、防災管理上の観点から側面的な助言を行った。

(2) 廃消火器リサイクル推進事業

市民からの要望に応じ、一般家庭の廃消火器（老朽化や腐食により使用に耐えない消火器等）の引取り業務（廃消火器の収集、運搬、一時保管）を実施した。

また、秋季火災予防運動期間中に、市内7ヶ所の会場で市民を対象とした消火器の無料点検を行った。

2 防災用品、防災関係図書頒布等事業（収2）

(1) 防災用品等の頒布事業

市民を対象に、火災や地震等の災害から身を守るために必要な防火防災用品及び応急手当用品等の頒布を行った。

（主な頒布品）

非常用持ち出し袋、携帯トイレ、サイレン付ラジオ&ライト、飲料水、非常食、家具固定バンド、耐震マット、三角巾、フェイスシールド等

(2) 防火防災・救急関係の図書頒布事業

ア 市民を対象に、火災や地震等の災害から生命、身体、財産を守るための情報、知識及び技術を提供する専門書等の頒布を行った。

イ 市民を対象に、応急手当及び救急についての情報、知識及び技術を提供する参考図書等の頒布を行った。

（主な頒布図書）

消防用設備等設置基準実例集、仙台市火災予防例規集、みちしるべ（乙種第4類危険物取扱者試験対策用）、乙種第4類危険物取扱者試験模擬問題集、地下タンク定期点検簿、応急手当等関係書等

(3) 消防防災関連機関の補完支援事業

ア 仙台市消防局親和会（仙台市消防局職員の親睦団体）から委託を受け、記念行事、式典などで職員が着用する消防礼服の管理業務等を行った。

イ 仙台市消防親睦会（仙台市消防局退職職員の親睦団体：OB会）の委託を受け、会員管理等の運営事務を行った。

Ⅲ 会議関係

理事会	第1回 平成28年5月12日 フォレスト仙台	・平成28年度定時総会に付議すべき事項等について審議した。
	第2回 平成28年6月2日 フォレスト仙台	・定時総会で選任された理事により、理事長及び専務理事の選定があり、理事長に藤崎三郎助氏、専務理事に八巻正之が選定された。
	第3回 平成28年11月14日 フォレスト仙台	・平成28年度事業計画及び予算等について審議した。
	第4回 平成29年3月15日 フォレスト仙台	・平成29年度事業計画及び予算等について審議した。
定時総会	平成28年6月2日 フォレスト仙台	・平成27年度事業報告の件及び決算の件（監査報告含む）並びに理事12名の選任の件、監事2名の選任の件について審議した。また、平成28年度事業計画及び収支予算の件について報告を行った。
表彰審査委員会	平成29年3月15日 フォレスト仙台	・平成29年度定時総会時に行う、理事長、防火管理部会長、危険物保安部会長、安全指導部会長表彰の定例表彰受賞対象者を審査した。

Ⅳ 組織の強化

1 会員の入会促進

協会の事業を積極的にPRして協会組織の充実強化を図るため、新たな事業所の入会促進に努めた。

2 職務能力の向上等

職員個々の職務能力向上を図るためOJTや接遇応対等に関する各種研修を行うとともに、人事評価制度等による人材の育成に努め組織体制の強化を図っている。